

2) 相対参照と絶対参照

① 相対参照とは、新たな^{セル}数式に値を参照しているセル番地や範囲が自動的に調整(ずれる)ような指定の仕方を「相対参照」という。

達成率(%)はジャケットの場合、= $J60/J64*100$ となるのでこの式を入力する。 2行目以降はL61をコピーする。

5月の店舗別売上表								(単位:千円)	
部門別アイテム	計画額	実績					合計	品物の構成比	達成率%
		東京店	横浜店	千葉店	埼玉店	栃木店			
ジャケット	20,000	5,880	3,800	3,600	3,100	2,850	19,230	0.223	96.2
スーツ	20,000	4,680	4,050	4,250	3,800	2,500	19,280	0.224	96.4
スカート	60,000	14,250	13,600	1,280	11,400	7,200	47,730	0.553	79.6
小計	100,000	24,810	21,450	9,130	18,300	12,550	86,240	1.000	

数式はに
に式が表示
されていり

② 絶対参照とは、値や範囲などを参照しているセル番地や範囲などが指定されているが、このセル番地や範囲を\$ \$で囲むことにより固定される。

このような指定の仕方を「絶対参照」という。 上記表の品物の構成比がそのやり方による。

品物の構成比はジャケットの場合、= $J61/$J65$ で表される。
J65を絶対参照値とするためJ65をインプットした後F4キーをセレクトすればよい。 2行目以降はK61をコピーする。$

参考)

ΣオートSUMでは次のような計算もできます。

